

北朝鮮による弾道ミサイル発射に伴う学校の対応について

各務原市教育委員会

弾道ミサイルは、極めて短時間で着弾します。万が一、弾道ミサイルが着弾した場合には、爆風や破片等による被害が想定されます。弾道ミサイルが日本に飛来する可能性がある場合は、全国瞬時警報システム（Jアラート）を通じて、災害情報スピーカーで特別なサイレン音とともにメッセージを流すほか、緊急速報メール等により緊急情報が伝達されます。

1 対応の基本方針

北朝鮮が弾道ミサイルを発射し、緊急に対応すべき事態が生じた場合に備え、以下のような方針で対応をお願いします。

- ◇Jアラート、テレビ・ラジオ、国民保護ポータルサイト等から、危険の状況を把握するなど情報収集に努めてください。
- ◇緊急時の決定に対応できるよう、普段から学校発の緊急メールに注意してください。
- ◇PTAや地域の方々に対して、児童生徒の安全確保のための協力体制を依頼することがあります。

2 Jアラート等を通じて緊急情報が発信された場合の対応について

(1) 児童生徒が登校する前に緊急情報が発信された場合

自宅待機とします。安全確認ができれば登校します。

- ア 午前7時までに安全確認がされている場合は、平常どおりの始業とします。
- イ 午前7時より後で午前11時までに安全確認がされた場合、確認後1時間を経てから授業を開始します。なお、給食は準備しますが、場合によっては品目、品数等の変更をすることがあります。
- ウ 午前11時を過ぎても安全確認ができない場合は、臨時休業とします。

※次の2つの情報が流れたら、安全確認ができたことになります。

Jアラート（ミサイル通過情報・落下場所等についての情報）

- 1.ミサイル通過。ミサイル通過。先ほどのミサイルは〇〇地方から〇〇へ通過した模様です。
- 2.先ほどのミサイルは、〇〇海に落下した模様です。

(2) 児童生徒が登下校中に緊急情報が発信された場合

- ・近くの建物（コンクリート造り等頑丈な建物が望ましいが、頑丈な建物がなければそれ以外の建物でも構わない）や地下等などに避難する。
 - ・近くに適当な建物がない場合は、周囲の状況を十分に確認して、物が「落ちてこない、倒れてこない、移動してこない」物陰に身を隠すか、地面に伏せて頭部を守る。
- ※ブロック塀や屋根瓦、自動販売機、ガラス、外壁、電線等の落下物や転倒物等に注意する。

安全確認ができれば登下校します。（登校中⇒学校へ、下校中⇒自宅へ）